

友の会総リーダー様
書籍係様

ようやく涼しくなってきました。北海道からは早くも雪のニュースが届いておりますが、みなさまいかがお過ごしでいらっしゃいますか。
本日は、寒い日にゆっくり飲みたくなるチャイの本のご案内を申し上げます。

◎12月10日書店発売 吉池浩美 著

『旅のち、チャイ チャイと焼き菓子のレシピ&旅ノート』

チャイとは、「お茶」という意味。言葉自体は、インド、ロシア、トルコや中東で広く使われており、中国語の「茶（チャ）」に由来します。日本のお茶もその流れを汲んでいます。チャイと聞くと、スパイシーで甘いミルクティーをイメージする人も多いかもしれませんが。これは1980年代に日本で増えた、インドカレー店の影響が強いようです。本書のチャイも、このミルクティーを指しています。

著者の吉池浩美さんは、長野県にある人気チャイ店「ミミロータス」の店主。彼女がチャイと出会ったのは、学校になじめず引きこもっていた中学生のときでした。「もっと広い世界を見てほしい」というご両親の考えのもと、親戚が暮らすネパールに送り出され、そこで世界最高峰の山々を見渡すトレッキングを経験。現地のシェルパが淹れてくれるチャイと出会ったのです。飲んだ人を包み込むような温かな飲み物。そんな優しい一杯を誰かにつくりたくて、吉池さんは紅茶屋になったといいます。

以来、インドやネパールを中心とした旅も続けてきました。旅で出会う初めての景色や人、音や色などからインスピレーションを得て、チャイやお菓子のレシピも生まれるようになりました。だから、吉池さんのつくるものは、常に旅の思い出とセット。本書では、さまざまなチャイのアレンジレシピやお菓子のレシピを、旅のエッセイと共にお届けします。じっくりページをめくって旅の気分を味わうもよし、実際にチャイや焼き菓子をつくって、ホッとひと息つくのもよし。さまざまな楽しみ方ができる一冊になりました。ぜひ、ご覧いただければ幸いです。
どうぞよろしくご願ひ申し上げます。

2024年10月28日
婦人之友社書籍編集部
菅 聖子